

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 6 回 大平地域会議
開催日時	平成 27 年 11 月 26 日 (木) 午後 6 時 30 分 開会 午後 8 時 40 分 閉会
開催場所	大平総合支所新館 2 階 第一・第二会議室
出席者氏名	赤澤 美智子 伊藤 宏幸 熊倉 匡志 黒田 愛美子 小林 明彦 佐山 幸子 清藤 良人 関根 淑子 高際 悦子 中島 豊和 稗田 真純 平井 良三 藤崎 英治 藤原 美恵子 山田 義久
欠席者氏名	大類 昭子 富山 勝也
事務局職員職氏名	大平総合支所長 小林 敏恭 大平地域まちづくりセンター所長 (地域まちづくり課長) 茂呂 浩司 同 副主幹 金子 好宏 同 主査 戸田 良訓 同 主査 高橋 綾子 同 主任 田中 佳代
その他出席者等	なし
会議事項	1. 栃木市文化振興計画実施細目 (素案) について【意見聴取】 2. まちづくり実働組織について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
●事務局	1. 開 会
◆会長	2. あいさつ
●担当課長 ●担当チームリーダー	3. 議 事 (1) 意見聴取事項 ・栃木市文化振興計画実施細目 (素案) について 栃木市文化振興計画実施細目 (素案) について、資料に基づいて説明。
◆会長	担当課の説明について、質問等があるか。 88 頁⑤「地域住民の担う部分」について、学校の部活動等と明言してしまうのは、違うのではないか。「指導者の確保に努めること」や、「学校や育成会等と連携し」などの文言を加えれば、地域住民の担う部分として考えられるのではないか。

●担当チームリーダー	この部分については文化振興計画で了承を得ているので、文言を変えることはできないが、具体的な活動内容に入れることは可能。ただ、学校の生徒たちも地域住民の一員という意味からこのような表現になっている。
◆会長	これを見る限り「アシストネット」という文言が入っていないが、これはあえて取り入れていないのか、市全体に関わることなので、記載していないのか。
●担当チームリーダー	市全域に関わることなので、73頁の全体の部分に入っている。
◆清藤委員	86頁②「納涼あじ祭」に関してだが、今年は中止となったが、その連絡が遅かった。結果的に参加者が少ないので中止したということだが、今後はどのようなのか教えていただきたい。
●担当チームリーダー	納涼あじ祭に関しては、教育支所の情報提供を基に計画に記載しているので、詳細については担当課でないとわからない。
◆清藤委員	西野田自治会では、子どものお囃子を発表していたが、中止となったことにより発表の機会がなくなってしまった。若者が発表できる場を増やすという方向からはずれるのはないか。
●担当チームリーダー	このような意見があったことは、教育支所へ伝える。
◆小林委員	大平地域だけではなく、全市的な話になるが、子どもを対象に、地域の文化を継承する任務を委嘱するという意味で、任期を設けて委嘱状を交付してはどうか。交付することによって、意識の改革になるのではないか。地域の伝統的なお祭りも昔からあるから参加しているというのではなく、文化を継承する役割を担っているという意識を持ってもらえると思う。
●担当チームリーダー	子どもも大人も対象とするのか。
◆小林委員	両方が対象でよいと思う。郷土芸能となるとかなり数は増えるが、個人の意識が違ふと思う。
●担当チームリーダー	大人の場合は「栃木市文化マイスター」という同じような制度がある。子どもに関しては、地域文化に関わる講座に出席した際に、修了証として、「子ども文化大使」という認定書を出す事業を実施している。
◆小林委員	それと同じようなイメージで、あなたに栃木市の文化を継承していただきたいという委嘱状を入れたらよいと思う。例えばお囃子等は、自治会単位で委嘱するのか、個人に委嘱するのかという問題はあがるが、どちらにしても、文化継承を委嘱されているという意識があることで、活発化するのではないか。

	<p>今回の納涼祭に関しても、ただ、客が来ないのでやめるというのではなく、文化の継承という意識があれば少しは変わっていくのではないかと思う。</p>
●担当チームリーダー	<p>伝統芸能の継承意識の啓発ということでよろしいか。</p>
◆小林委員	<p>よい。</p>
◆平井委員	<p>⑤の郷土芸能等の後継者の育成の中に、指定無形民俗文化財伝承補助金の交付とあるが、指定無形民俗文化財というものが、郷土芸能に限られたものなのか、もっと幅の広い意味としてとらえているように思う。さらに、①の実績には、どんど焼き、しめ縄づくりと記載されている。まさに私の自治会の行事と同じなのだが、現在市からの補助金は全く出していない。盆踊りも自治会だけで続けている。⑤の無形民俗文化財という意味で、実績もあるので、市から補助金がいただければもっと活発化するのではないかと思う。</p>
●担当チームリーダー	<p>大平地域で無形民俗文化財として指定されているものは、富田節、^{ぶし だいだいかぐら}太々神楽、^{ごだんぼやし}五段囃子になる。これは指定されているものに対する補助であるが、どんど焼きやしめ縄づくりも郷土の文化として非常に大切なものである。これらにどういった補助があるのか、今後の課題として検討していかなければならないと思う。</p>
◆平井委員	<p>また、先ほどの納涼あじ祭の話に戻るが、参加者が少ないのでやめてしまうというのではなく、長い目で、子どもの育成という観点からも考えていかなければならないと思う。文化課から指導的に見ていていただきたい。</p>
◆会長	<p>指定無形民俗文化財伝承補助金の実績として、実際に補助金を出しているものを記載した方がよいと思う。</p>
◆佐山委員	<p>合併後、栃木市は西方から藤岡までそれぞれ幅広い文化を持っているが、郷土の伝統行事やお祭りに関して、市でまとまっているのか。</p>
●担当チームリーダー	<p>伝統行事としてまとめた資料はなく、市も把握していない。しかし、地域の文化資源の掘り起しとして、来年調査する予定である。その中に、その他として伝統行事を入れていくことは可能である。</p>
◆佐山委員	<p>地域の子どもたちに少しずつでも伝えていければよいと思う。</p>
◆高際委員	<p>この地域会議の代表として文化振興計画関連の会議に出席しているが、具体的な活動内容として、各委員が知っている地域の行事等があれば、意見として出していただきたい。</p>

●事務局	<p>担当課の意見回答期限までに、再度意見聴取をさせていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">— 了 承 —</p>
●事務局	<p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり実働組織について <p>まちづくり実働組織について、資料に基づいて説明。 見附市等の事例紹介、前橋市への視察研修の案内があった。</p>
◆会長	<p>事務局の説明について、質問等があるか。</p>
◆伊藤委員	<p>まちづくり実働組織に関しての説明を受けたが、この地域会議で何を話し合えばよいかわからない。</p>
●事務局	<p>大平地域では、このような組織がよいのでは等の在り方を検討していただきたい。</p>
◆平井委員	<p>地域会議が実働組織の上部組織のような印象を受けてしまう。</p>
◆藤原委員	<p>まちづくり実働組織の全容がなかなかみえてこないが、例えば大平地域の文化祭の来客数が年々減っているが、先ほどの納涼祭についても中止となっている。そういったことが問題だと思う。文化祭で配布された案内図も、去年の物を使っていたし、やる気が見えてこない。やる気に見える文化祭やイベントを原点に戻って考える場が必要ではないか。</p>
◆会長	<p>1つ1つのイベントを盛り上げたいという熱い思いを持って、何をやっているのかわからないことが続くかもしれないが、この地域をよくしたいという気持ちを持って、この機会を大事にしていくべきかと思う。</p> <p>今は暗中模索の状態だが、もう少しお付き合いいただきたい。</p>
●事務局	<p>事務局としても、何を最大の目標にするのか、皆様の意見を聞きながら進めていきたいと思う。18日の視察研修もぜひご参加いただきたい。</p>
◆関根委員	<p>大平地域には59団体あるとのことだが、これらの団体に、これからどのようにして実働組織に関わっていただくのか。</p>
●事務局	<p>確かに59団体あるが、それぞれ目的が分類化されているので、既存の組織をベースに統一するというのは難しいと思われる。組織に関わっている方の思いを聞いていこうと思う。事務局としても、団体を対象に説明会等を開催していく予定である。ただ、違った目的を持った団体に対し、どのように組織に関わってい</p>

	<p>ただくかは、非常に難しい問題でもある。</p> <p>まずは団体の方から、現在の課題や、今後の目標等を聞きながら、それを基に大きな目標を作ることがよいと思う。実働組織というネットワーク組織を作り、そこに各団体が参画というかたちで加わっていくようなイメージである。</p> <p>さらに、難しい点としては、地域コミュニティーという観点からいくと、やはり自治会がベースとなる。自治会組織をベースに実働組織を作り上げていくか、既存の団体をベースに実働組織をまとめ上げていくのかが難しい問題となっている。なので、今回は自治会をベースとして活動している前橋市の地域づくり協議会を視察したいと考えている。さらに、前橋市では他の団体がどのように関わっているかが聞けるのではないかな。</p> <p>ぜひ視察にご参加いただきたい。</p>
◆小林委員	<p>市内他地域の例の中で、皆川があるが、事務局として実働組織に近いという認識なのか。</p>
●事務局	<p>これは自治会が中心で、どちらかというと地域のコミュニティーがベースとなっている。事務局でもこういった進め方でいいのかという迷いもある。</p> <p>大平地域は、田舎の部分と都会の部分と両方を持ち合わせているので、地域のコミュニティーを最優先の目標にしてやっていくべきなのか、他の地域と比較しても、迷いがある状態である。もっとフレキシブルな考えで進めた方が効果的ではないかと思う。</p>
◆藤原委員	<p>自治会をベースにするのか、各種団体をベースにするのか、どちらかでないといけないのか。同等でよいのではないかな。自治会の団体と、各種団体、各種団体も1つにするのではなく、その中で区別をすればよいと思う。</p>
●事務局	<p>全体でまとめるとなると46自治会あるので総括していくとなると難しい。なので、実際にいろいろな場所を視察して、フレキシブルに考えていきたいと思う。</p>
◆佐山委員	<p>私は女団連から出ているが、実働組織への委員の推薦はいつ頃になるのか。その団体が実働組織に参加する意思があるのかないか分からない状態で話し合っても、前に進まないのではないかな。どのような団体が参加するのか決めていただきたい。</p>
●事務局	<p>団体の方への説明会は、これから行っていこうと考えているのでご理解いただきたい。</p>
	<p style="text-align: center;">《全提案について検討終了》</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 栃木市生活排水処理構想(案)パブリックコメント実施について</p>
●事務局	

<p>◆会長</p> <p>●事務局</p>	<p>(2) 大平運動公園ウォーキングコース等整備事業について</p> <p>(3) 地域会議から提出された地域予算事業計画書について</p> <p>(4) 協働のコツについて</p> <ul style="list-style-type: none">・大平南小学校鈴木校長より協働によるまちづくりについての講話をいただく旨、了承を得た。・次回大平地域会議の開催について 平成28年1月28日(木)午後6時30分より 別館3階大会議室 <p>5. 閉 会</p>
------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------